

しんぶん  
**赤旗**

日刊 ●月 3497円  
日曜版 ●月 930円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



# しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会  
発行責任者 木村 文次

## 許すな暴挙 冷たい政治 医療費2倍 軍事費2倍

**高齢者医療費負担  
2割引き上げ!**

10月1日、岸田政権は75歳以上の高齢者のうち370万人の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げ2倍化しました。6月には年金総額を0.4%削減。物価高騰で苦しむ国民に、さらに追い打ちをかける暴挙です。

岸田政権は介護保険制度の負担増と給付削減も検討しています。原則1割(一定所得以上は2割3割となる)の利用料の引き上げや、要介護1、2の訪問・通所介護の保険給付外しなどです。

また後期高齢者医療の保険料値上げも検討しています。高齢化に伴う後期高齢者の人口増に合わせた新たな保険料値上げの仕組みをつくらうとしています。

**軍事費2倍化!**

一方で岸田政権はロシアのウクライナ侵略、北朝鮮の大陸間弾道ミサイル発射などに乘じて大軍

拡に走ろうとしています。「いわゆる敵基地攻撃能力も含め、あらゆる選択力を排除せず、防衛力を抜本的に強化する」岸田首相は5月の日米首脳会談で、軍事費の相当の増額の確保を対米約束。歴代政権で初めて違憲の敵基地攻撃能力(反撃能力)保有検討を表明し、そのための大軍拡の検討を指示しました。年末には、新たな国家安全保障戦略など安保関連3文書の決定にあわせて、5年以内に軍事費の倍化を狙っています。

**軍事費5兆円!**

「軍事費2倍」の財源は5兆円。1950年(昭和25年)、自衛隊の前身である警察予備隊の編成に伴い、軍事費として初めて1310億円が計上されました。以後、憲法9条で「戦力不保持」を掲げているにもかかわらず、日本は60年の日米安保条約改定以降、右肩上がりの軍拡を続けてきました。そ

**布施弁天日帰り  
旅行に参加**

10月29日は晴天で絶好の旅行日和でした。あけぼの山公園入口でバスを降り、相馬霊場の巡礼道を、7名で巡ります。

境内の茶屋で昼食をとり日本庭園とさくら小道を入ると南龍寺で、26番札所は霊場で最西です。布施の曲がりくねった道を歩くと、祠が並ぶ67番札所がある薬師堂です。やがて布施弁天に着。石段途中で竜宮城のような楼門があり、本堂は関東三弁天と言われる



も綺麗でした。

果樹園でシートを広げティータイムをとった後、バスで帰宅の途に、楽しい一日でした。(栄 T)

**許さないの声を!**

してついに第2次安倍政権期の2016年度には当初予算で5兆円を突破しました。軍事費が5兆円を超えるまで60年以上かかったのに対して、岸田政権はわずか5年間で5兆円を積み増そうとしています。

社会保障は冷酷に切り捨てる一方で、軍事費は



許さないにゃー

財源のあてもなく2倍化を狙う。こんな冷たい政治では暮らしも経済もなりたちません。理不尽で非道なやり方は許さないの声を一緒にあげていきましょう。(編集部)

**市政を語る会報告**

10月15日、我孫子南地域後援会主催の市政を語る会が北近隣センター・並木本館会議室で開催されました。

木村会長挨拶、竹内事務局長の報告の後、野村議員から市議会の報告がありました。



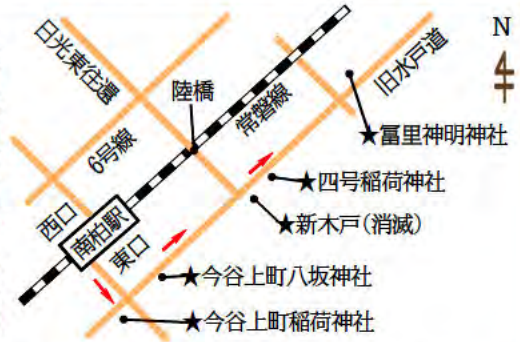
議員からは、①インボイス中止の請願は委員会では通過したが本会議では否決された事。②長年地域住民が整備してきた我孫子宿が市の史跡に指定された事。③通学路の整備状況等について質問した事、等が報告されました。(田 加)

### オオバン

5年近く前、NHKでドラマ化もされた「記者襲撃 赤報隊事件30年目の真実」という本が再注目されている。35年前の5月3日、朝日新聞阪神支局の記者が何者かに散弾銃で殺害された事件を追った本だ。著者の樋田毅氏は事件の3年前まで阪神支局に勤めていた関係もあり、襲撃事件取材時のキャップとなった▼事件で使用された物と同型の使用済み散弾容器と脅迫状が3日後に朝日東京本社に届いた▼当時、散弾の型は報道されていなかった。脅迫状には統一教会の悪口を言う奴は皆殺しだと書かれていた。しかし、なぜか時効となった▼同氏著、「彼は早稲田で死んだ」が今年の大宅壮一賞を取り、来年映画化される▼今から50年前、私の高校の2年先輩でもあった川口大三郎君が中核派と疑われ、革マル派に早稲田大学構内で殺される事件が起こった。事件後、第一文芸部自治会委員長となったのが樋田氏だった▼それから49年後の昨年、やっと本が出来たと命日に報告をかね襲撃りに行くこと、50回忌法要の日だった▼そこには川口君が約3ヶ月だけ係わっていた当時の早稲田学生新聞の関係者達が来ていた▼早稲田学生新聞は統一協会系として知られていた。(白山 R)



# 我孫子古道巡り 7056 南柏駅と旧水戸道を巡る



今回は「南柏駅」の南側を巡ります。

南柏駅は昭和28年に開業。西口が開設され駅北側の区画整理が進みました。東口は光ヶ丘団地の造成や、南側地域の住宅開発が進み昭和46年に開設されました。



南柏駅東口

東口を出ると歩行道アツキが整備されて大型商業施設が立ち並びます。直進すると「旧水戸道」です。正面に「今谷上町稲荷神社」があり、新田開発の享保年



今谷上町稲荷神社

間(1716~35)創建で、今谷新田西割16番から天保14年(1803)に現在地に移転されました。

街道を東に進むと「今谷上町八坂神社」です。享保18年(1733)に創建され

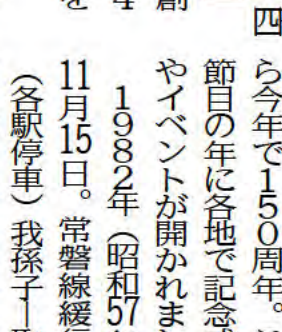


今谷上町八坂神社

一方は水戸道経由・日光東往還を行列したというものです。話は面白いのですが、吉宗の行列時は、お供や人足総勢36万人超もいたこと等を考えると、警備にあたる日光山勤番の諸大名達が通った道ではないかと、山本鉦太郎は書いています。

通説では日光社参のおり將軍の襲撃を考慮し、江戸城から將軍の駕籠2丁で出発し、千住で一方は表街道、

東に進むと「四号稲荷神社」です。明治新政府となり、武士の失業対策として「下野牧」の開墾を行った豊四季の有志が明治中期に創建しました。四号とは、4番目に開墾された豊四季を表します。



四号稲荷神社

「富里神明神社」も、以前の住所は豊四季で有志が明治中期に創建しました。



富里神明神社

参考文獻「旧水戸街道繁盛記」山本鉦太郎著

## しらかば文芸欄 4 作曲・栄 S

### 美しい街から

美しい街から  
 野鳥が住む沼の ほとりなたたずむ  
 平和都市宣言を かけろこの街  
 戦争のない世界を目指して  
 青い空と深い緑の 美しい街から  
 我孫子に住んでから どれだけたったでしょう  
 古い歴史の街 大切なふるさと  
 野鳥が住む沼の ほとりなたたずむ  
 丘の木々と谷津の景色が 美しいこの街に  
 古い歴史の街 大切なふるさと  
 ハケの道を巡り 行き交う人達  
 ※印繰り返す  
 青い空と深い緑の 美しい街から

## 常磐線あれこれ 22

1872年(明治5年)10月14日に日本初の鉄道が新橋―横浜間で開業してから今年で150周年。この節目の年に各地で記念式典やイベントが開かれました。1982年(昭和57年)11月15日、常磐線緩行線(各駅停車)我孫子―取手間の複々線が開業しました。今年が開業40周年ですが、イベントはもうろんぽスターなどの宣伝もありません。

現在、常磐線緩行線(各駅停車)我孫子―取手間は、平日の朝夕の通勤時間帯しか電車がありません(休日については終日電車がありません)。

我孫子駅の場合、取手行きの各駅停車は8時6分発の次は、17時50分。これは、都心から取手まで、わざわざ時間のかかる各駅停車を利用する人が少ないことが理由にあります。これは複々線として機能しているとはいえません。

常磐線緩行線(各駅停車)は、特に快速通過駅の利用者からは支持を得られませんでした。また天王台駅は、複々線完成後は各駅停車のみ停車となる計画でしたが、地域住民が不便になると反対。快速ホーム設置の費用を地元が負担する形で快速停車が存続しました。



閑散とした各駅停車ホーム入口(天王台駅)

現在の天王台駅と取手駅の平日昼間と休日の閑散とした緩行線ホームは、常磐線複々線化の複雑な歴史を反映しているといえるでしょう。(次号へ続く)

(緑 竹内)



「ヘリコニア(パリー島)」 若松・高橋祥子